

2016年6月27日

社会貢献活動のお知らせ

ミャンマーに「助産診療センター」を寄贈
安定したサポートの実現で母子健康に貢献

- 大塚製薬は、世界の人々の健康に幅広く貢献することを目的に、認定 NPO 法人ピープルズ・ホープ・ジャパン(PHJ)を継続的に支援
- 出産や保健教育のための施設「助産診療センター」を、ミャンマー農村部に PHJ を通じて寄贈
- センター設立により、助産師介助の定常化や充実した保健教育の実現が可能になり、安定したサポートで母子健康に貢献

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫、以下「大塚製薬」)は、認定 NPO 法人ピープルズ・ホープ・ジャパン(住所:東京都、理事長・小田晋吾、以下「PHJ」)を通じて、ミャンマーに助産診療センターを寄贈し、6月24日に現地 Allel Kyun(アレージョン)村にて寄贈式を実施しました。



左: Nay Pyi Taw Council, Council Member: Mr. H.E. U Tin Htut
右: 大塚製薬株式会社 業務管理部部長 吉永芳博

ミャンマーでは、出産時は助産師が妊産婦の自宅を訪れて分娩介助する方法が一般的ですが、妊産婦や乳児の健康のための環境整備が課題となっています*。そのため、衛生面の改善、複数人への同時処置、妊産婦への継続的なケアや保健教育の充実などが望まれています。

新しく建設された助産診療センターは、首都ネピドー北部にある農村地域のアレージョン村に位置します。出産のための病院が遠方であることなどから、ミャンマー保健省の要請で同村での開設を決定しました。センターでは助産師が常駐し、出産時の分娩介助を行うほか、簡易な治療や妊産婦や村人への継続的な保健教育を行います。これにより、出産や育児に関する理解が深まるとともに、より安定した母子健康のためのサポートが実現可能となります。



助産診療センター 外観



近隣に在住する助産師や看護師

大塚製薬は、世界の人々の健康への貢献を目的に幅広く活動を行っており、アジア地域の母子保健改善を中心に活動を行う PHJ の活動にも賛同し、支援してきました。これまでも洪水時に水害被害のあったカンボジアへの製品提供や、緊急時の妊婦搬送用のバイク(トゥクトゥク)の寄贈などの支援を実施しています。

大塚製薬は、今後も「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」の企業理念のもと、「大塚だからできること」「大塚にしかできないこと」を考え、世界の人々の健康に貢献できる活動を行ってまいります。

*World Health Statistics 2015 によると、他周辺諸国と比較し、乳児死亡率や妊婦死亡率が高い。

2013 年 乳児死亡率(人/1,000 出生)： 日本:2、タイ:11、ベトナム:19、カンボジア:33、ミャンマー:40

2013 年 妊産婦死亡率(人/100,000 出産) 日本:6、タイ:26、ベトナム:49、カンボジア:170、ミャンマー:200

【助産診療センターについて】

名称	Sub Rural Health Center
設立	2016 年 6 月
所在地	Allel Kyun Village, Tatkon Township, Nay Pyi Taw Union Territory, Republic of the Union of Myanmar
スタッフ	助産師 1 名、公衆衛生担当保健師 1 名



【認定 NPO 法人ピープルズ・ホープ・ジャパンについて】 <http://www.ph-japan.org/>

アジアの途上国の人々の自立に向けて「保健・医療の教育」を中心とした支援活動に取り組んでおり、主に母子保健分野において継続的な教育支援活動を実施しています。1999 年に特定非営利活動法人の認証を受け、2001 年には認定 NPO 法人第一号となりました。

【大塚製薬の主な社会貢献活動】

活動名称	国・地域	概要
水分・電解質補給の大切さを伝える取組み	日本	熱中症対策としての水分補給の大切さを伝えるために、全国各地で社員による出張講座を開催するなど、25年以上にわたり活動。また、会社 HP などでも通じ広く情報を発信。
健康や栄養の大切さを伝える取組み	日本	健康の維持増進をサポートする機能性飲料・機能性食品などのエビデンス(科学的根拠)に基づき、栄養の大切さを伝える活動を実施。各専門家と連携し、健康や栄養価値を伝えるセミナーを全国で開催。また会社 HP などでも通じ情報を発信。
健康増進・防災・災害支援活動	日本	地域貢献の一環として、健康増進や防災・災害支援のための活動を実施。各自治体と連携協定を締結し、熱中症対策や生活習慣病予防などの分野で地域住民の健康に貢献。
徳島での地域貢献活動	日本	大塚発祥の地の徳島では、工場等が、地域と協力して環境学習や無料野外コンサート、ウォーキング大会などを継続的に実施。
大塚ウエルフェアクリニック	パキスタン	アフガニスタン難民のための診療所「大塚ウエルフェアクリニック」を大塚グループ各社とともに、2003年にパキスタンに設立。援助が必要な患者さんに無料で医療を提供。
SATU HATI (心をひとつに)	インドネシア	インドネシアの関係会社「アメルタインダ大塚」では、地元への貢献を目的に、2007年から「SATU HATI(心をひとつに)」と呼ばれるチャリティイベントを開催。図書館設立や本の寄付も行う。また、工場敷地内で小学生に国語や計算、英語などを教える「SATU HATI 塾」を開催。
Tofu for Africa	ブルキナファソ	フランスの関係会社「ニュートリション エ サンテ」では、アフリカのブルキナファソで、地元住民の栄養改善を目的に、「Tofu for Africa」プロジェクトを2008年から実施。NGOと協力して、大豆の育成指導や豆腐生産支援を実施。



水分・電解質補給の大切さを伝える取組み



大塚ウエルフェアクリニック



SATU HATI 塾